

AI時代の教育学会
2019年度事業報告

I 総務報告

1 理事会 〈2回開催〉

第1回理事会

開催日 令和元年7月30日(火)

令和元年度 事業計画/収支計画

定款・規程の制定/その他 役員を選任について

第2回理事会

開催日 令和2年3月20日(金)

令和2年度 事業計画/収支計画

定款の改定について

2 総会 〈1回開催〉

第1回総会

開催日 令和元年7月30日(火)

令和元年度 事業計画/収支計画

定款・規程の制定/その他 役員を選任について

II 事業報告

(1) 学術論文の作成と会員の作成した論文の審査

2019年度5回論文誌を誌面とWebで発刊し、学会員の学術論文作成を促進すると共に、編集委員会と査読委員により会員の作成した6論文を審査した。

素早い論文査読を行うため、2名の査読者が2カ月以内に1回査読を行った。

(2) 全国大会の開催

全国の学校の教員を主な対象として、2019年7月30日都内千代田区にある一橋講堂で年1回の夏期の全国大会・セミナーを公益財団法人学習情報研究センターと一般社団法人デジタル表現研究会(D-Project)と共催形式で開催し、教育関係者205名が参加した。

(3) 研究会、講演会、講習会等の開催

2019年度は1回「全国研究発表会」を開催した。第1回目は2019年9月28日一橋講堂会議場で開催し、28名が参加した。第2回目は2020年3月20日に開催予定だったが新型コロナウイルス感染拡大を受け2020年度に延期となった。

2019年度は定例の論文編集、年次大会、全国研究発表会や広報・企画の各委員会に加え、特別委員会を2か月に1回開催し、AI時代の教育に関する諸課題(政策検討、AI倫理、情報教育など)についての調査研究を行った。

(4) 論文誌、会誌、ニューズレター及び図書の発行と販売

2019年度は5回公益財団法人学習情報研究センター発行の「学習情報研究」誌に、学術論文、実践研究報告や学会からの連絡事項(論文執筆要領)などを掲載した。メルマガによるニューズレターの発信や、図書の発行を適宜実施した。

(5) 国内外の学協会との連携

2019年度は国内外の学協会からなる相互会員を募り、連絡及び協力を図った。

(6) その他

2019年度は「拡大事務局会議」を適宜開催し、AI時代の教育研究に関し必要と認められる事業の検討を行った。

以上